

オンライン診療の サステナブルな成長の維持

遠隔医療技術の品質向上により、消費者の要望に沿った
デジタル医療インフラストラクチャが実現

フロスト&サリバンビジュアルホワイトペーパー

目次

- 3 オンライン診療の促進にはグローバルな戦略が不可欠
- 4 遠隔医療ソリューションは今や、医療提供のギャップを埋めるための重点分野に
- 5 オンライン診療の用途は今後も拡大
- 6 エンドユーザー（医療提供者と患者）の課題に対処
- 7 臨床、財務、ITに関するニーズを満たす拡張性の高いソリューション
- 8 オンライン診療を推進する際の課題
- 9 連携およびビデオコラボレーションのビジョン
- 10 オンライン診療へのパラダイムシフトをサポートするために必要なインフラストラクチャ
- 11 会社情報

医療サービスの提供に際し、オンライン診療が長期的に実行可能かつ好んで選ばれる選択肢として普及してきました。本書では、臨床的価値を確保し体験を改善するビデオ通話ソリューションを、消費者の要望や組織の優先事項に沿って戦略的に選択することの重要性に光を当てます。

注：フロスト&サリバンは本書において、「オンライン診療」および「遠隔医療」という用語を、モバイルヘルス、テレヘルス（遠隔医療）、テレメディスン（遠隔診療）、遠隔患者モニタリング技術の発展に関連する用語全体を示すものとして使用しています。

オンライン診療の促進にはグローバルな戦略が不可欠

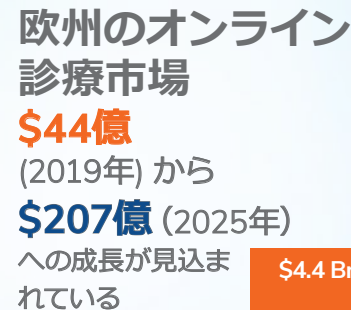
地政学的混沌から 戦略への移行

- ▶ 医療機関は、標準治療を提供するために、オンライン診療能力を獲得して、限られた予算の中で質の高い診療を行わなければなりません。
- ▶ オンライン診療モデルへの移行を支えるために導入したインフラストラクチャとツールを、今後に向けて、批判的な目で見直す必要があります。
- ▶ テクノロジーは、その場しのぎではなく長期的なニーズにマッチしていなくてはなりません。

消費者の要望を満たす インフラストラクチャの実現

- ▶ 対面式の診療が「対面式とオンライン診療の組み合わせ」に移行することにより、製品とサービスの競争がこれまでと異なる様相を見せ始めています。
- ▶ オンライン診療と遠隔患者モニタリング (RPM) の普及により、革新的な新製品でオンライン診療体験を改善しようとする企業が、新たに市場に参入してきています。
- ▶ 医療におけるすべての利害関係者が、最先端のデジタル医療インフラストラクチャを強化および導入する必要があります。

成長が加速する世界市場



オーストラリアでは現在**1,000万人**の患者が遠隔医療サービスを利用中

遠隔医療ソリューションは今や、医療提供のギャップを埋めるための重点分野に

十分な医療を受けられていない人々がいる状況を改善するために、政府はリモートアクセス/遠隔医療ソリューションへの財政支援を継続

- ▶ 世界各国の政府は、遠隔医療の普及を促進するために、遠隔医療に対する診療報酬を増額し、規制のハードルを下げています。
- ▶ COVID-19の流行以前、遠隔医療ソリューションは、欧州、アジアなど世界の各地域で散発的に利用されていました。



- ▶ COVID-19の流行が始まると、医師と患者の双方で、オンライン診療の利用が拡大しました。
- ▶ 健康の社会的決定要因 (SDoH) により、医療ニーズが満たされていない人々のマッピングが可能になりました。

世界各国の国立医療機関の財政支援により
遠隔医療の普及を大幅に促進



カナダは、2020年後半に\$1,340万の予算を計上し、トロントに拠点を置く3社とイノベーションハブに資金を提供して、遠隔医療を含むデジタル診療の推進を支援しました。



中国のCOVID-19流行後の遠隔医療予算は推定\$86億で、2023年度に米国の市場を抜き、2025年には\$542億に達するものと見込まれています。



オーストラリアは、遠隔医療に\$8,800万の予算を確保し、2021年末まで遠隔医療サービス提供の拡大を続ける方針です。

出典: CNBC社、フロスト&サリバン

オンライン診療の用途は今後も拡大

当初、質的な問題から、遠隔医療は支持や評価を得られませんでした。

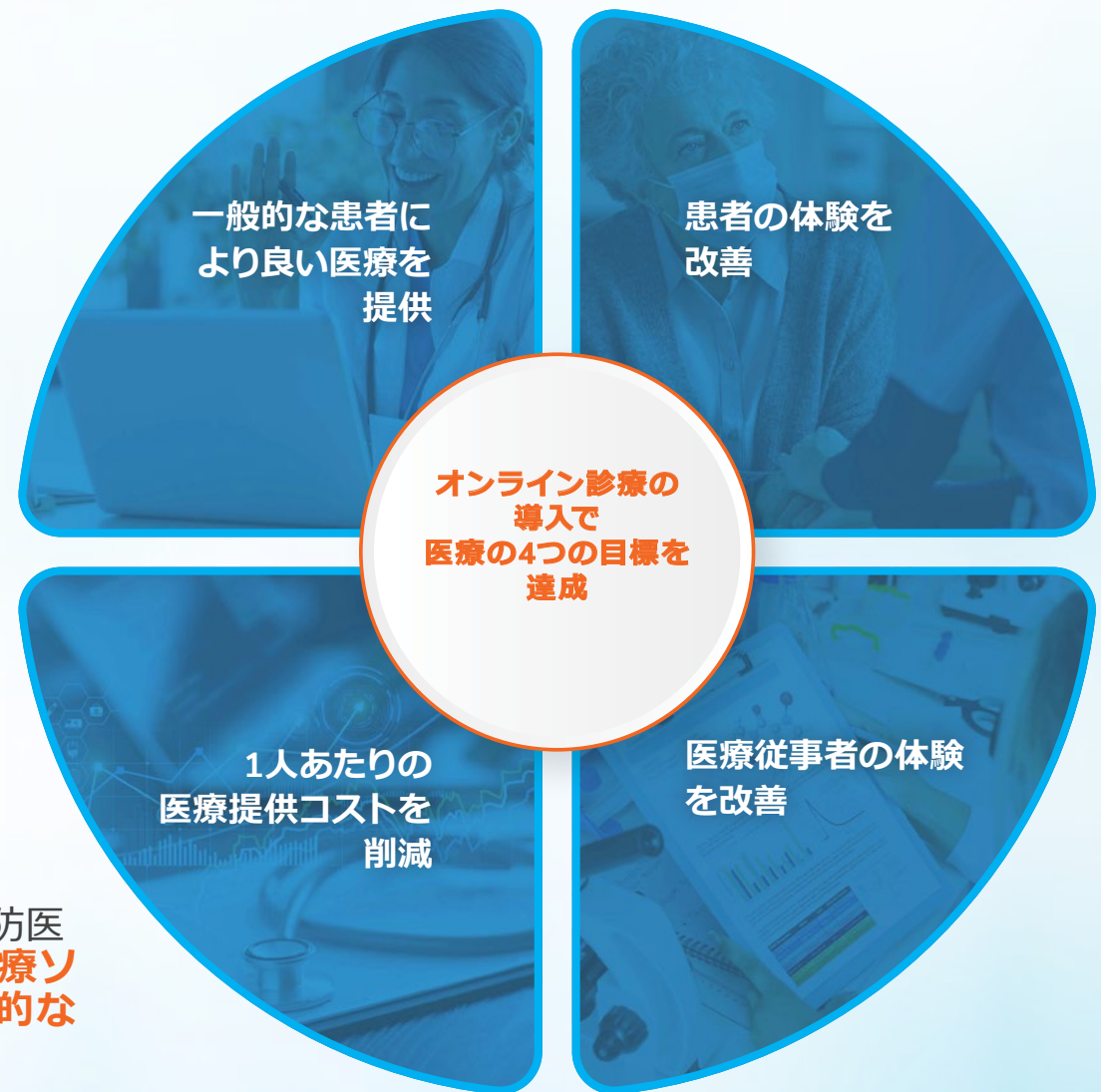
しかし医療提供者らは、遠隔医療に関して、競争上の新しい要件や要望に適応しなければならないことにすぐ気付きました。遠隔医療技術が、経験に即した要望を満たし、コスト、相互運用性、使いやすさに関する組織のニーズを満たす必要があると悟ったのです。

2020年には、世界中で遠隔医療の利用が促進され、それに関するデータが利用可能になりました。そして最良の条件下でのエビデンスから、遠隔医療を導入したことで、医療機関が医療の4つの目標（Quadruple Aim）の取り組みを達成できたことが示されました。

これにより、遠隔医療を採用することへの抵抗が薄れ、ビデオ通話テクノロジーソリューションの改良を含む、オンライン診療ソリューションの新たなパラダイムが示されたのです。

オンライン診療などの遠隔医療により、医師と患者の双方にメリットがもたらされましたが、継続的な利用をサポートするインフラストラクチャは現在も見直しが行われ、アップグレードが検討されています。

医療提供者は、従来の対処療法から予防医療に重点をシフト。これに伴い、**遠隔医療ソリューションは、より継続的かつ予防的な医療に不可欠なものに**



エンドユーザー（医療提供者と患者）の課題に対処

最優先事項 - 患者と医療提供者の体験を改善する

- ▶ 遠隔医療は、はるかに広範なオンライン診療体制へと進化し、直接対面式診療の代替手段として最もよく用いられるようになりました。その背景には、財政支援と、患者にとって好ましい標準治療として医師が受け入れたことがあります。
- ▶ オンライン診療におけるすべてのイノベーションで目指すべきは、医療提供者と患者が、当事者全員のための確固とした医療体験を得られるようにすることです。
- ▶ 患者は、強化されたビデオベースのコミュニケーション ソリューションといった遠隔医療テクノロジーに、大きな期待を寄せています。

患者中心のオンラインビデオ通話の普及

- ▶ 接続に関する技術的問題が発生せず、診察の質が高ければ、患者はオンライン診療を高く評価します。一方、ビデオ通話の質が低いと、評価はマイナスになります。
- ▶ 医療提供者は、技術的なハードルを気にすることなく質の高い診療を提供できなければなりません。使いやすいシステムと、プラグ&プレイのビデオ通話機器が求められています。
- ▶ 医療機関や医療系のIT企業は、即座に患者の信頼が寄せられる高品質な映像/音声を実現するという、よりパーソナライズされた最終目標に取り組む必要があります。

マサチューセッツ総合病院の調査結果



患者の62%が
オンラインビデオ診療の質は
実際に病院を訪問したときと
変わらないと回答し
21%はビデオ診療の方が
質が高かったと回答



患者の68%
がオンラインビデオ診療を
10点中9点または10点と評価



オンラインビデオ診療を提供している**医療従事者の59%**が、**オンライン診療と実際の通院に大きな差はないと回答**

出典：フロスト&サリバン

臨床、財務、ITに関するニーズを満たす拡張性の高いソリューション

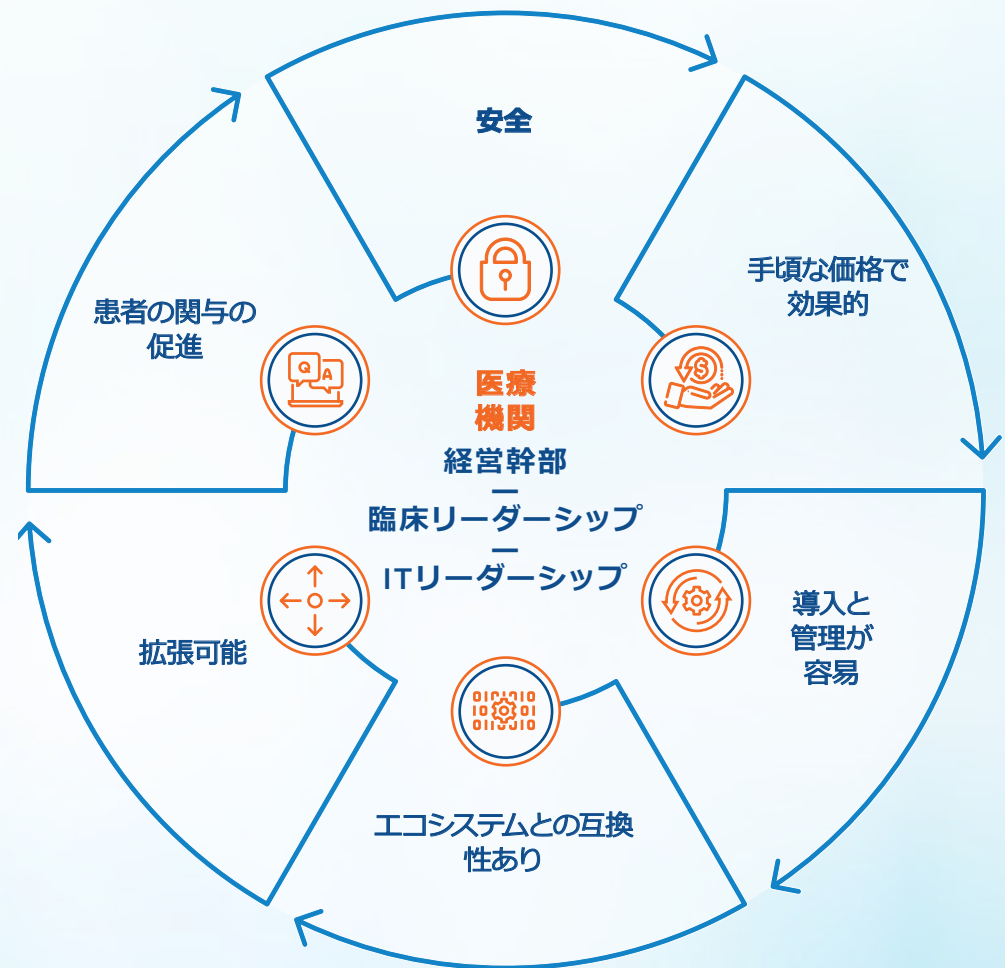
コラボレーションを可能にする医療ソリューションを見つける

- ▶ これまで遠隔医療を制限してきた規制は、徐々に緩和されてきています。多くの利害関係者がそのメリットをすでに得ていることを考えると、パンデミック後にそれらが完全に元に戻ることはないでしょう。
- ▶ 世界中の医療機関が革新的なビデオ通話を採用しています。これにより、ビデオコラボレーション サービスを提供している信頼のあるブランドは、患者の診療にビデオ通話を活用する方法を示し、さらなる使用方法の開拓を支援しています。
- ▶ シンプルなUSBプラグ&プレイに対応したソリューションは、シームレスな接続を可能にし、パーソナライズされた体験で患者の関与を高め、必要性が最も高い場所で医療サービスへのアクセスを拡大し、あらゆるコミュニティの健康を向上させます。

新たな遠隔医療の標準治療

- ▶ シンプルさを追求し、使いやすいソリューション、エコシステムとの互換性、容易なデバイス管理で、医師らの抵抗感を克服します。
- ▶ 患者の関与の促進、質の高い診療、シームレスな連携と相互運用性、採用/運用開始の容易さという、臨床リーダーシップにおける目標を満たしています。
- ▶ 柔軟なコスト構造で、質の高い体験という組織リーダーおよび財務リーダーの目標を満たしています。

オンライン診療ソリューションは
組織の要件を満たさなければならない



出典：フロスト&サリバン

オンライン診療を推進する際の課題

既存および新興のオンライン テクノロジー プラットフォームは成長に対応できるか？

- ▶ 率直に言えば、オンライン診療は、世界中のあらゆる医療ニーズに対する万能薬的な手段ではなく、今後もそうなることはありません。
- ▶ COVID-19が医療機関の日常業務や標準治療に深刻な影響をもたらしたことから、オンライン診療が導入されて、世界中の医療機関が、文字通り一夜にして変わることを余儀なくされました。

検査や治療は今後も直接対面で行う必要がある

- ▶ オンライン診療は、常にすべての患者にとってのソリューションとなるわけではありません。特定の検査や治療は直接対面で行う必要があります。
- ▶ ビデオベースのコラボレーション ソリューション。
- ▶ しかし、先進的な5Gブロードバンド、大幅に機能向上したビデオカメラ、シームレスなビデオ生成といったイノベーションのたびに、これまで不可能だったオンライン診療における臨床目標が、達成可能になってきています。

高画質なカメラと映像を駆使したオンライン診療が
標準治療の幅を広げる

感染症のオンライントリージ

世界保健機関 (WHO)

腫瘍治療

心疾患治療

慢性創傷の治療

理学療法

国民健康保険の請求

サイバーセキュリティ

Wi-Fiと5Gの使用

健康情報のセキュリティ

EHR認証

米国疾病対策予防センター (CDC)

連携およびビデオコラボレーションのビジョン

新しいオンライン診療ビジネスモデルの登場

- ▶ ビデオ通話を介した遠隔医療能力のニーズは急速に拡大していますが、高品質なカメラ/ビデオ通話の新たなテクノロジーおよび利用方法を随時取り入れていくのは、容易ではありません。
- ▶ 診療所では、**遠隔医療を通じて20%の収益増加を達成できます**。また、ビデオ通話を利用したオンライン診療を採用することで、控え目に見積もっても年間でさらに\$45,000の収益を上げることができます。
- ▶ **患者の50%は、オンライン診療を常時利用できるのであれば**、医療機関を変える意志があると回答しています。

世界レベルのソリューションを推進する必要性

- ▶ **米国では、年間約\$2,500億の医療費がオンライン診療またはオンラインビデオ診療に移行可能と推定されています**。この金額は、**Medicare、Medicaid、民間の保険に加入している人の直接対面診療、外来診療、在宅医療の費用全体の20%に相当します**。
- ▶ オンライン診療が世界的に普及するにつれ、**オンライン診療の実施や医療の質と効率の向上においてビデオ会議サービスが果たすべき役割は、ますます大きくなってきています**。

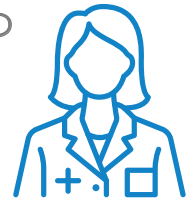


ビデオ会議は質の高い医療の適用範囲が拡大する将来に向けて、オンライン診療の普及を支援しています



現行の遠隔医療技術にビデオ診察を追加したことで医療相談の件数が**1,000%増加**したことが報告されている

今日、患者はオンラインビデオ会議を利用することで、**最大15分以内に、専門医と連絡を取る**ことが可能になっている。従来の通院では考えられないことである



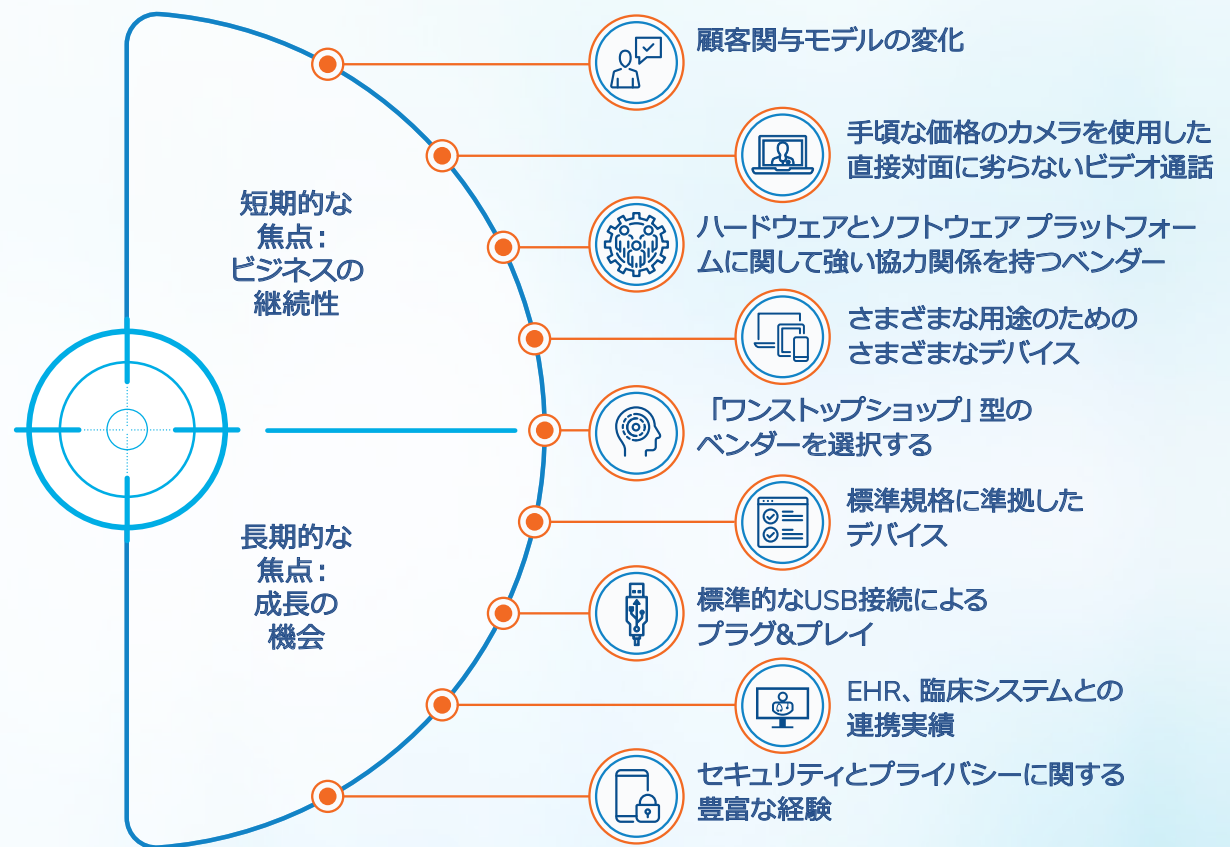
出典：フロスト&サリバン

オンライン診療へのパラダイムシフトをサポートするために必要なインフラストラクチャ

コスト効率に優れたソリューションはすぐに手に入ります。しかし、個々のニーズに最も適した幅広いソリューションを提供できるベンダーパートナーを、慎重に検討する必要があります。今こそ、オンライン診療イノベーションの次のステップに進み、オンライン診療の新しい用途とビデオコラボレーションテクノロジーを活用するときです。

オンライン診療は、拡張性を考慮しながら利用しやすいように導入する必要があります。それには、手頃な価格と高いパフォーマンスの両方を兼ね備えた適切なハードウェアの調達が必要です。

- ▶ 遠隔医療の付加価値を高め、その用途を拡大するためには、医療機関は、適切なインフラストラクチャの構築を急ぐ必要があります。
- ▶ ソリューションやデバイスは、すべてが同じように作られているわけではありません。したがって、標準治療と医療の実践方法を再検討し、ソリューションの価値、相互運用性、コスト効率、拡張性を見きわめる必要があります。
- ▶ 質の高い医療を提供するために、資産や資本準備金を清算する必要はありません。オンライン診療は、拡張性を考慮しながら利用しやすいように導入する必要があります。それには、組織の目標を満たす適切なハードウェアの調達が欠かせません。
 - より質の高い成果の実現
 - 医療提供コストの削減
 - 医師にとっての使いやすさ
 - 質の高い医療の提供



ソリューションやデバイスは、すべてが同じように作られているわけではありません。拡張性、コスト、品質、体験の一貫性を重視しましょう。

出典: フロスト&サリバン

会社情報



ロジクールでは、「地域や環境を問わず、医療提供者が患者と自然に信頼関係を構築していけるように支援されるべきである」と考えています。当社のミッションは、医師が治療法について患者に説明したり、医療提供者が互いに相談したり、家族が愛する人とコミュニケーションをとったりする際に、障壁なく真につながれるよう、支援することにあります。当社は、一貫性があり、信頼性が高く、医師と患者に遠隔医療の利用を促進するような、強化された遠隔医療体験を提供します。これにより、オンライン診療の新たな基準を定め、未来の医療エコシステムを構築します。

デジタル医療が変化しつつある今、ロジクールは、高品質なエンタープライズグレードのビデオ通話ソリューションを手頃な価格で提供します。これにより、高いコスト、一貫性のない体験など、遠隔医療を導入する際の課題を、IT部門が解決できるよう支援します。当社のソリューションは、あらゆる主要なビデオ会議アプリケーション、遠隔医療プラットフォーム、医療機器ベンダー製品などとシームレスかつ安全に連携し、医療提供者と患者が、きわめて重要な人間的つながりをリアルタイムで持てるようにします。病床で、医療提供者の自宅で、あるいはそれ以外のどこかで何ができるかを、医療提供者が再考できるよう支援します。

詳細については、www.logicool.co.jp/promo/healthcareをご覧ください。

F R O S T & S U L L I V A N

成長パイプライン企業。

成長とは、旅のようなものです。私たちがそのガイドを務めます。フロスト&サリバンは、60年以上にわたり、企業、政府機関、投資家に実用的なインサイトを提供し、革新的な成長機会を次々にもたらしてきました。これにより当社のお客様は、経済性を最大化し、新たなメガトレンドに乗り、持続可能な成長を基盤として未来を形作っています。

当社の成長パイプラインは、実用的な情報、きわめて有用なサードパーティからの推奨事項、世界レベルのサポート、豊富な経験に基づくコラボレーション、革新的な市場進出戦略、実証されたベストプラクティスを通じてリーダーシップチームを指導し、お客様が潜在的な成長力を発揮できるよう支援します。

どのような課題でも、フロスト&サリバンはそのすべてを見てきました。世界各地に散らばる当社の1,200人の業界エキスパートは、35の分野、300の市場、そして数えきれないほどの業界で確かな経験を積んでいます。その経験を基に、個々のお客様に合わせて成長パイプラインを構築し、お客様によるその実施をサポートします。



成長とは、旅のようなものです。私たちがそのガイドを務めます。

フロスト&サリバンは、60年以上にわたり、企業、政府機関、投資家に実用的なインサイトを提供し、革新的な成長機会を次々にもたらしてきました。これにより当社のお客様は、経済性を最大化し、新たなメガトレンドに乗り、サステナブルな成長を基盤として未来を形作っています。

お問い合わせ: ディスカッションを開始

SILICON VALLEY

3211 Scott Blvd
Santa Clara, CA 95054
電話 +1 650.475.4500

SAN ANTONIO

7550 West Interstate 10
Suite 400
San Antonio, TX 78229
電話 +1 210.348.1000

LONDON

566 Chiswick High Road
London W4 5YF
電話 +44 (0)20 8996 8500